

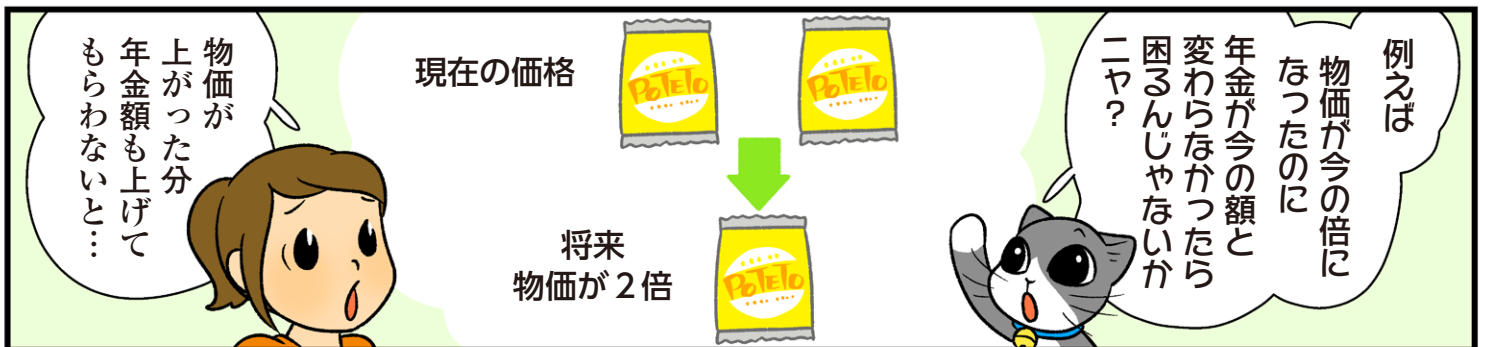
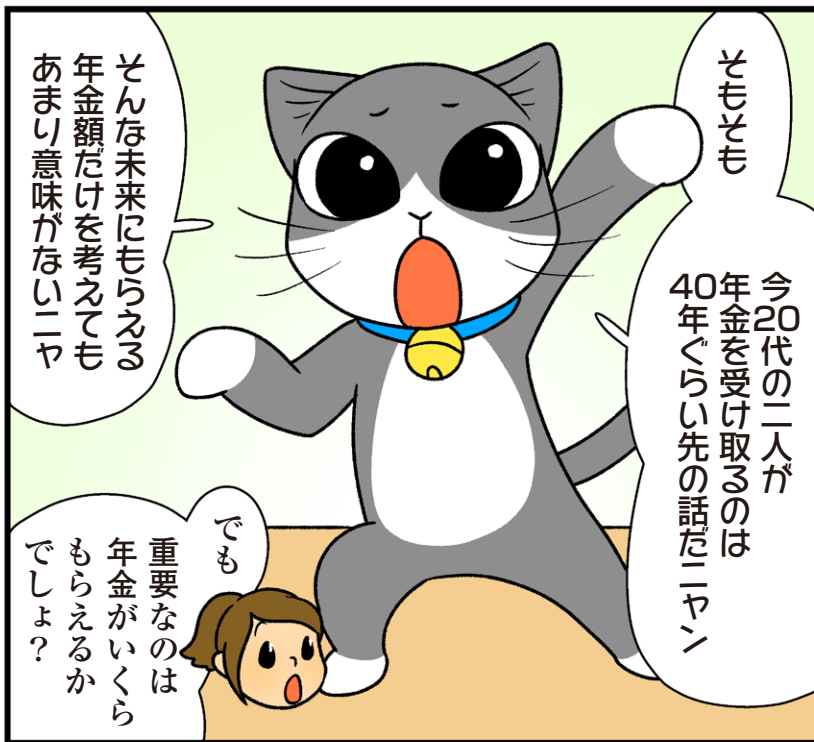


Q.09

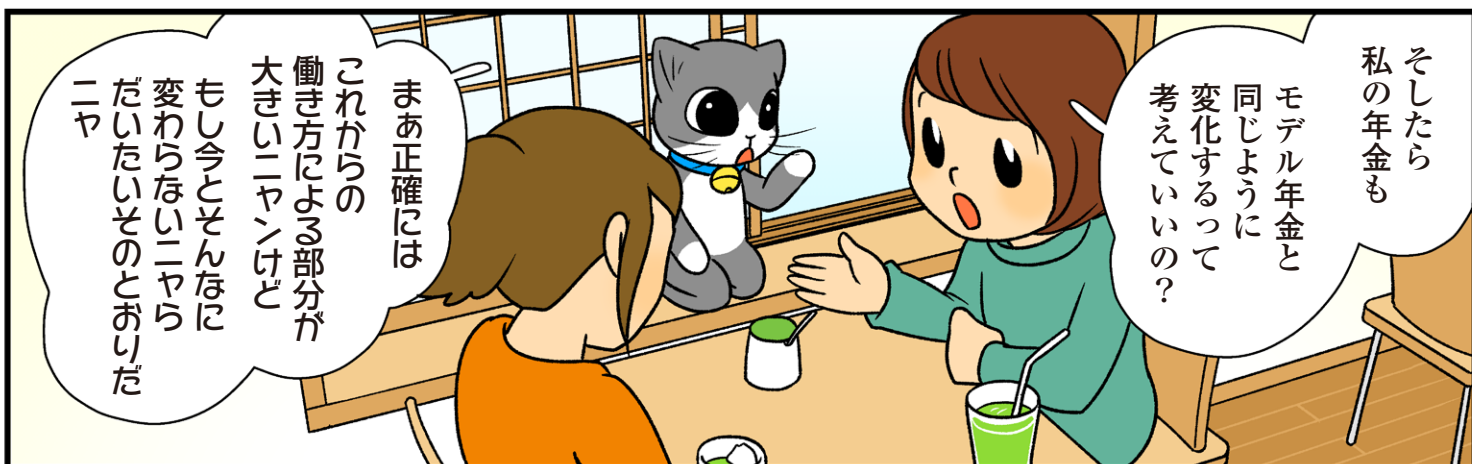
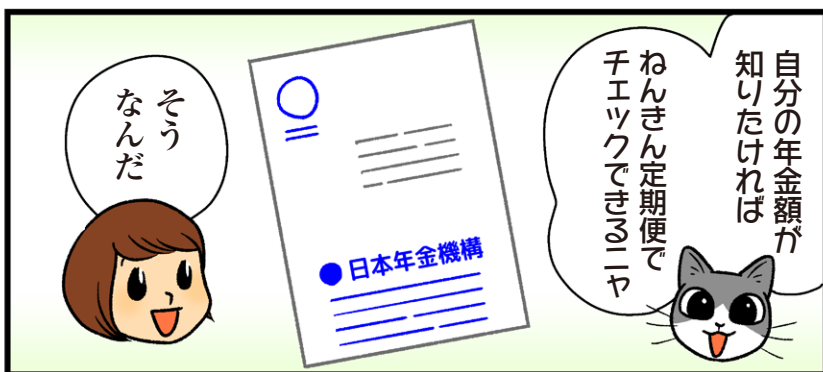
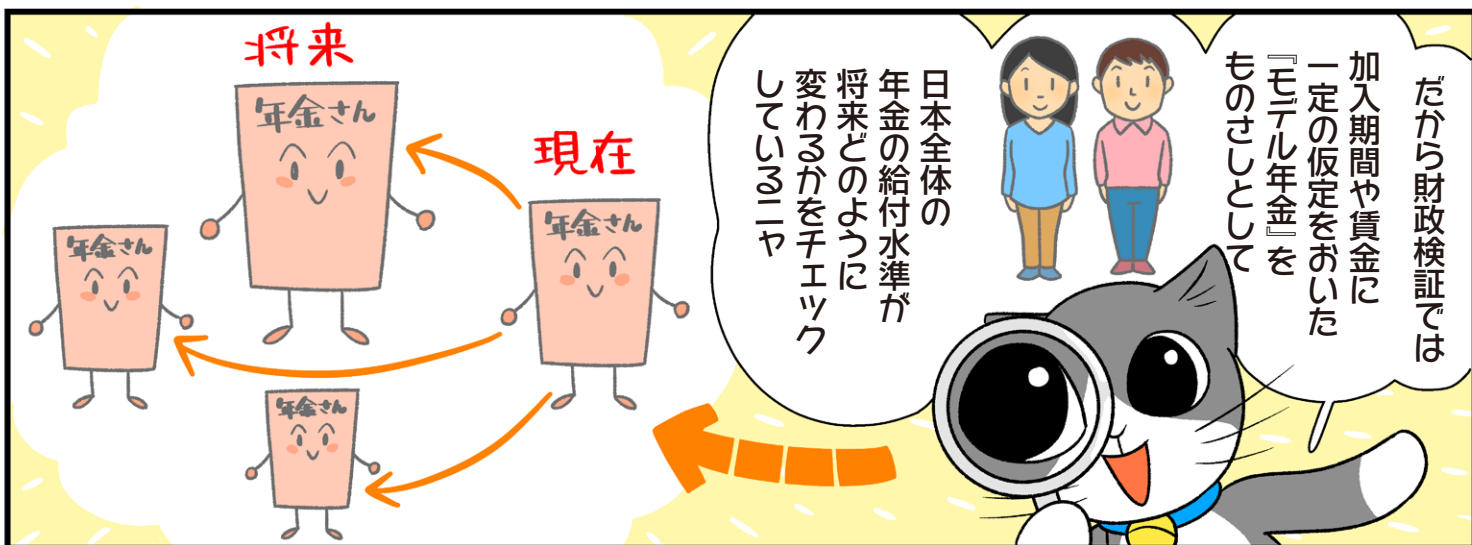
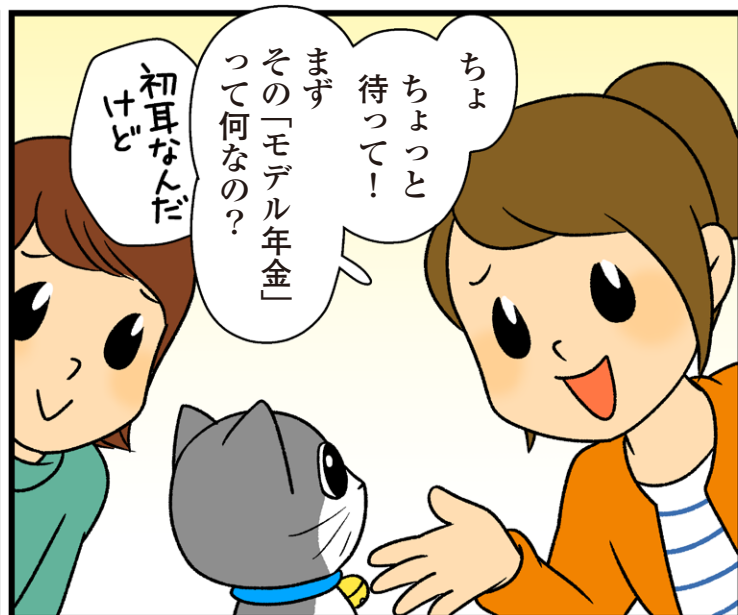
# 財政検証では、将来の年金の何を チェックしているの？

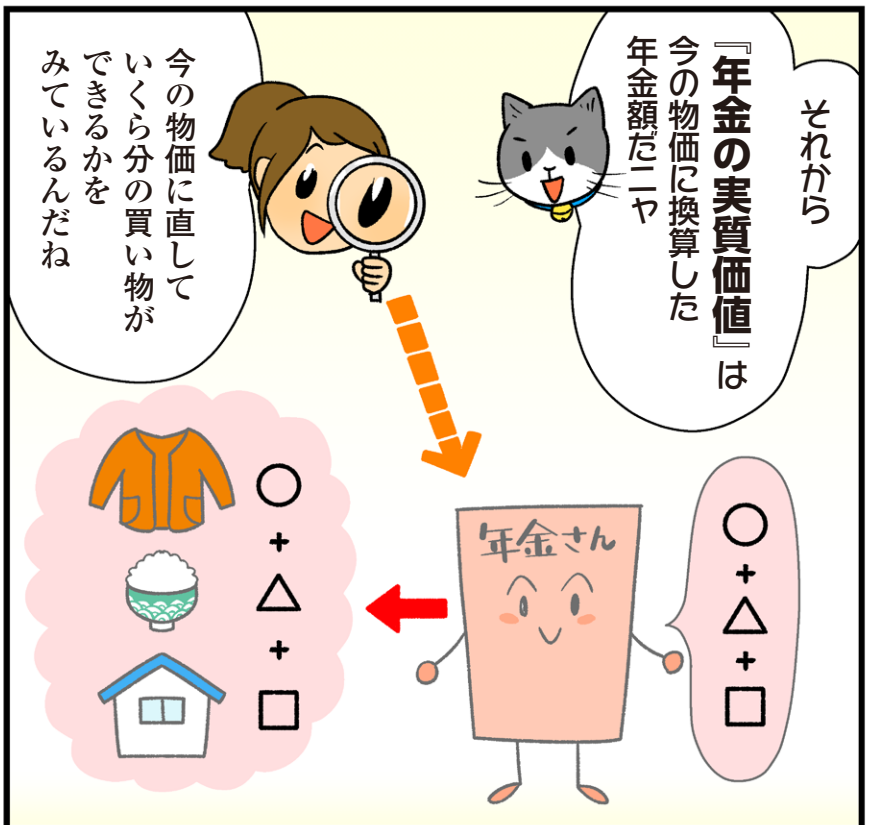
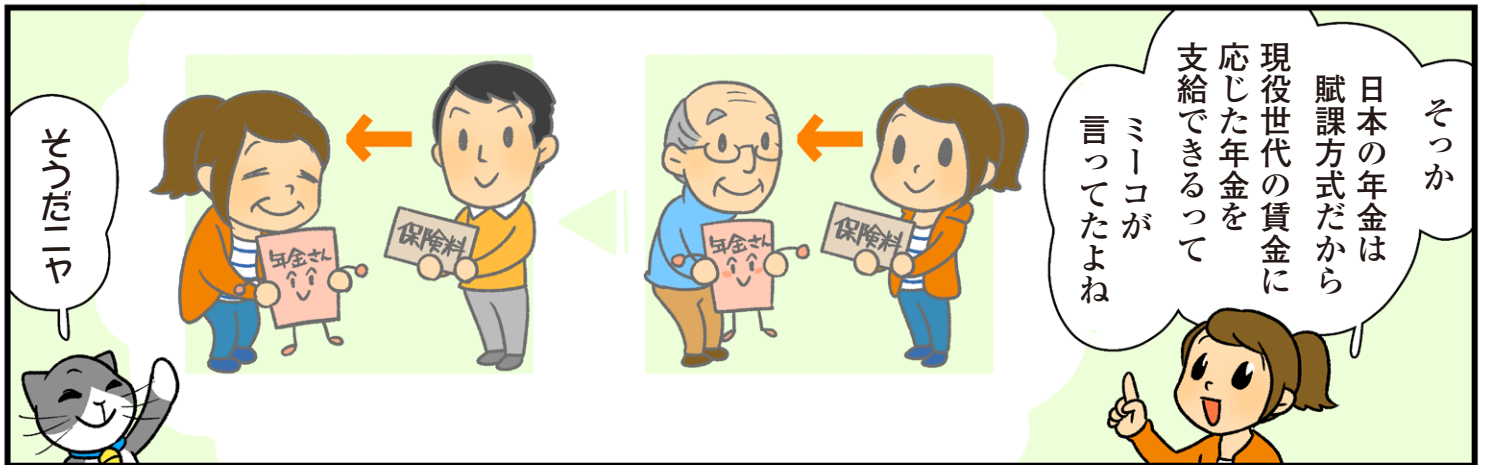
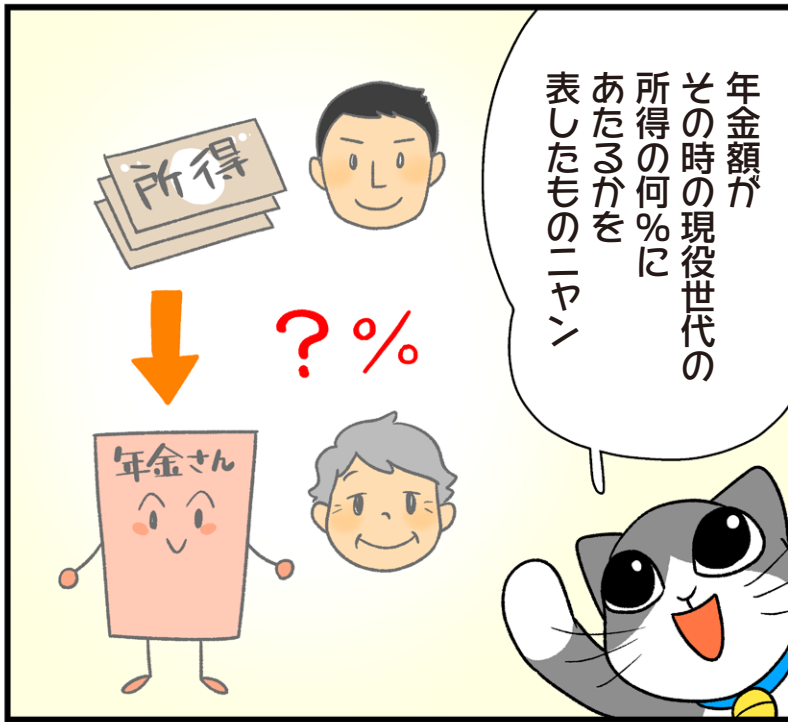


※詳しくは4、7話を参照



※詳しくは別話を参照





※詳しくはこの話を参照

所得代替率が変わらなくても…

現役世代の賃金

貰える年金額

『賃金の実質価値』が上昇すれば

年金の実質価値も上昇する

『賃金の実質価値』  
つまり「今の物価に換算した賃金」が上昇すれば

所得代替率が変わらなくても『年金の実質価値』は上昇するよ！

現役世代の賃金も将来は変わっていくニャー！

結局  
その『所得代替率』と『年金の実質価値』は将来どうなるの？

で

二人とも大正解!!

そっか『年金の実質価値』は今の物価に直したら年金額はどのくらいになるか

『所得代替率』はそのときの現役世代の所得（≠生活水準）と比べた相対的な水準はどのくらいかを見ているんだね

0%

やっぱり  
少子高齢化で下がるのかな？

次の話で説明するニャー

※詳しくは10話を参照

## A.09

財政検証では、将来の年金額がその時の現役世代の所得の何%を示す「所得代替率」と、将来の年金額を現在の物価に換算した「年金の実質価値」、この2つをチェックしている。

